

2021年5月7日

鹿児島大学病院 歯科麻酔全管理歯科 で

超音波ガイド下三叉神経ブロックの治療を受けた患者さんへ

(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院歯科麻酔全管理歯科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

超音波ガイド下三叉神経ブロックの合併症における後ろ向き研究

【研究機関】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

顎顔面機能再建学講座 歯科麻酔全身管理学分野

【研究責任者】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

顎顔面機能再建学講座 歯科麻酔全身管理学分野

助教 小島佑貴

【研究の目的】

現在、全身麻酔下手術後の疼痛コントロールは神経ブロックや硬膜外麻酔など、局所麻酔を用いることで麻薬の使用量を抑える傾向にあります。これは、麻薬を多量に使用することによる合併症を減らすことにつながるからです。しかし、顎顔面手術において神経ブロックは一般的に行われておらず、術後鎮痛には非麻薬性鎮痛薬や麻薬がよく用いられてきました。

近年、顎顔面領域の超音波ガイド下の三叉神経ブロックが考案され、注目されています。現在、頭頸部領域における手術で三叉神経ブロックを行うことで、術後の疼痛コントロールに有効であることが示されています。しかしながら、いまだこの神経ブロックを行うことで、どのような合併症がどの程度の確率で生じるかは不明のままです。合併症の存在とその確率を調査することは安全な医療を提供する上で重要なデータとなります。

【研究の方法】

入院、外来にて超音波ガイド下の三叉神経ブロックを受けた患者さんの経過をすでに記載されたカルテから確認する方法です。この方法は、研究の結果を公平に判断するためにもちいられる一般的な研究方法です。

【対象となる患者さん】

2018年4月1日から2021年3月31日までに、鹿児島大学病院歯科麻酔全身管理歯科で治療のために超音波ガイド下の三叉神経ブロックを受けた患者さん。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

診療録から利用する情報は、年齢・身長・体重・既往歴といった情報と、神経ブロックで用いた薬液量や施行後の経過について取得します。試料・情報の管理の責任は研究責任者である、小島佑貴が行います。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を匿名化します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科歯科麻酔学全身管理歯学分野の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

顎顔面機能再建学講座 歯科麻酔全身管理学分野

助教 小島佑貴

電話 099-275-6288 FAX 099-275-6288